

Q. 120名もの市の職員が市外へ居住し通勤している、この状況をどう考えるのか

A. 職員としての自覚と立場をしっかりと考えるよう伝えている



ここを聞きました

- 定住促進について
- 備中診療所及び平川診療所の運営について
- 病後児保育事業について

黒川 定住促進は、総合計画の中で最も重点を置いたプロジェクトだが、120名もの市職員が市外へ居住し通勤している。このことを市長はどのように捉えているのか。

また、両診療所を合わせて年間8000人もの患者さんが受診されている。今後、医師、看護師などの職員を配置し従来通り医療提供を行なっていく。

市長 居住の自由は保証されており、また様々な事情があることも承知している。強制はできないが、市の職員としての自覚と高梁市が置かれている立場をしっかりと考えるよう伝えている。

黒川 平成28年度からの新規事業である病後児保育事業の実施場所及び内容はどうか。

黒川 備中診療所及び平川診療所については、旭川荘が指定管理者となり運営されてきたが、平成28年3月をもって撤退すると聞いている。今後どのように医療提供を行っていくのか。

健康福祉部長 子どもを生み育てる環境整備充実のため従来から検討してきた。具体的には、子どもさんの病気、例えばインフルエンザなどにおいて、その回復期に保護者の方が就業しなければならなくなった時などに対応できるようにこの事業を実施する。場所については、現在検討中である。

市長 4月からは、成羽病院の施設として市が直接運営していく。

Q. 工事の状況を動画映像として保存活用してはどうか

A. 記録保存は重要と考えている。関係部署と連携し、対応したい



ここを聞きました

- 旧吹屋小学校整備事業について
- 地域の食と農業、景観を生かした観光戦略について

旧吹屋小学校保存整備工事の映像保存してはどうか

森田 保存整備後には、国の重要文化財の指定を目指すとして、今年度から工事が始まっているが、整備工事の重要な部分については、動画資料で保存し、重要文化財指定並びに観光振興に活用してはどうか。

教育次長 映像での記録保存は市にとっても重要であり大切なことだと考えている。関係部署と連携し対応していきたい。

国の重要文化財指定については地域一体で申請してはどうか

森田 吹屋地域には銅の生産を基とした、ベンガラ製造を手掛けたれ国の登録有形文化財に指定されている西江邸をはじめ、多くの国

及び市指定の文化財および遺産がある。国指定の申請に当たっては地域一帯で行ってはどうか。

教育次長 銅とベンガラは吹屋の歴史であると認識している。しかし重要文化財指定の基準は建築物単体で指定を受けるというのが基本原則であり、今回の国の重要文化財指定申請については困難であると思っている。

「食と農業、景観を生かした観光戦略」を進めてはどうか

森田 平成28年度において国が検討している観光戦略を進めてはどうか。**産業経済部長** この戦略については、インバウンド観光に向けての戦略と考えている。今後高梁川流域経済成長戦略会議に提案していきたい。

Q. 国民健康保険税の引き上げをしないよう求める

A. 医療費の増加により基金や一般会計からの繰入金で税額を抑えている



ここを聞きました

- 市民の暮らしと健康を守る国民健康保険の運営について
- 高齢者の命綱である介護保険について
- 農林水産物に対するTPPの影響とその対策について
- 市の道路管理、河川管理について

市民の暮らしと健康を守る国保の運営について

難波 国保の県単位化（統合）が一年延期となった。この際、市民の声が届かなくなる単位化は中止を求めよ。

健康福祉部長 単位化の延期は消費税の引き上げ延期と関係している。これは国と県で協議してきた結果であり流れは止められない。

難波 市民の暮らしは大変厳しい状況だ。国保税の引き下げを求める。

健康福祉部長 被保険者が減少しているが一人当たりの医療費は伸び続けており5%の引き上げを行った。

難波 子ども医療費無料化に対する国保への国の負担金減額措置（ペナルティー）をやめるよう求め

ること。

市長 本市の子供医療費は18歳まで無料としている。これに対して国の負担金カットを受けている。どういった方策があるかも含め、改善をねばり強く国に申し入れをする。

高齢者の命綱である介護保険について

難波 国の法律改正で要支援者は給付サービスから除外されるが、高齢者が必要なサービスを受けられないことが無いよう対応を求める。

健康福祉部長 要支援サービスについては新しい介護予防総合事業で行われる。サービス利用に当たってはケアマネージャが中心となり本人の希望や主治医の意見をもとにサービスを行う。

Q. 備中中学校の統廃合について

A. しっかり話し合いをしたい



ここを聞きました

- 備中中学校の統廃合について
- 有害鳥獣駆除について
- 県道新見川上線について

市長は適切な判断を

川上 備中中学校の統廃合については今年の1月、統合する旨の回覧で初めて地域住民が統廃合の事実を知らされた。教育長は統合する場合、歴史的経緯経過があり、保護者や地域住民と協議し理解と同意を得た上で進めていくと発言されている。しかし、このような対応で保護者や地域住民の理解が得られなかった場合、市長は住民が納得できるように適切な政治判断をすべきではないか。

市長 教育委員会は、地域、保護者との対話を通して理解しあうことが大切であり、コミュニケーションが不足していたと反省している。しっかり話し合いをしていただき、そのうえで行政判断をさ

有害鳥獣対策を

川上 有害鳥獣については年々被害が拡大しているが、市としてどのように対応するのか。**産業経済部長** 有害鳥獣については、防護、追い払い、駆除を基本として対応し、補助金等の交付も行っている。

道路改良を早急に

川上 県道新見川上線について、高梁分の改良が大幅に遅れているがどのように対応するのか。**産業経済部長** 布瀬の両側から早急に改良をし、地域の安心・安全に努めていきたいと考える。